

写真と労協新聞で綴る

ワカスコラ ミエトウの跡



失業、貧乏、戦争なくせ

中高年雇用・福祉事業団全国協議会の設立



中高年雇用・福祉事業団全国協議会が発足(1979年9月6、7日)

事業団の母体、全日自労の闘い(1980年)



失対事業改革、公的就労事業確立へ



失対事業打ち切りに反対する仲間たち



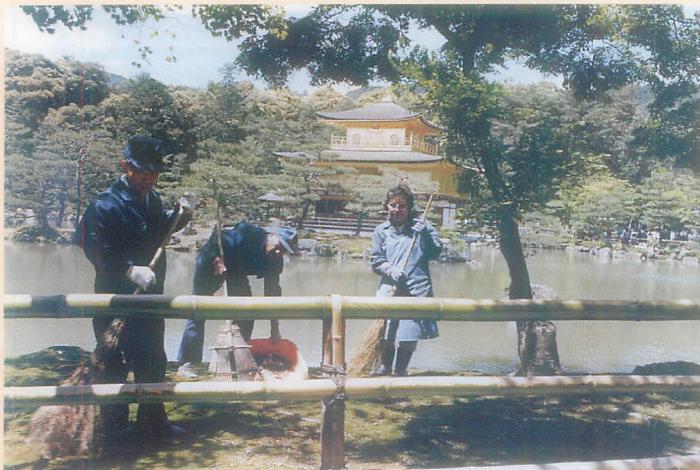
全国協議会5周年式典に日本フィルハーモニーがフルオーケストラで友情出演(1985年)



西宮中高年企業組合
中・高等学校の排水・校庭改良工事(1979年)



柏屋郡中高年事業団 老人給食事業(1981年)



京都高齢者事業団 金閣寺清掃(1970年代初頭頃~)



東京高齢者就労事業団 新宿戸山公園清掃(1988年)

よい仕事への挑戦、労働者が主人公へ

労働者協同組合・センター事業団の設立

**全国協議会直轄
東葛地域事業団を設立**

千葉県
流山市

中高年事業全国協議会
東葛地域事業団設立総会

「七つの原則をしっかりと確立し、成功させよう」と中西理事長があいさつ（東葛事業団設立総会）

**ここにかける
若手事務局員の抱負**

人びとの希望を胸
田中

話す
金田自身は
廣島では
んたらや
て、夫婦の
んたるじのねはあ
んで始めただけ
はも高年死
くら働きか
人たるじのねはあ
にこれだけ
あえて始
新規事業団の承
請け出しが、
反対のときも少
くない。一方で、
人間会設
定年第
号でクビ
やつくる
たったた
の現実的な
つきた。
當時、
の現実的な
つきた。

ビルメン 全国事業化へ一步

七月五日、千葉県流山市に新設された東葛地域（生田幸治理事長、六十五才）の講義室で、事業田園協同組合が設立運営する、東葛地域事業団が設立会を行いました。総会には病院の清掃、整備、設備管理を担当する九人の医師を中心とした三百人が参集。会場や活動方針、予算などを決めた。東葛地域事業団発足してから、東葛地域事業団が設立されました。また、東葛地域事業団発足のことは喜びました。久保田社長もかつて、激励の言葉を述べました。田中事務局員などと連絡しました。



中高年事業全国協議会
東葛地域事業団設立総会

七つの原則
一、高い目標をめざり、活性化、躍進の策
二、多様な意見を尊重する
三、民主的運営を実現する
四、労働者主体と労働者の権利を尊重し、保護する
五、労働者主体のための適切な活動を展開し、実施する
六、労働者主体のための活動を実施する
七、労働者主体のための活動を実施する



「1に意思統一 2に日参 3で30億」をスローガンにした1・2・3運動開始（1989年）



センター事業団設立総代会（1987年12月13日）



石巻地方中高年雇用・福祉事業団
「jigyoudan新聞」読み合わせ（1991年）



第1回よい仕事研究交流集会（1989年）

新しい福祉社会の創造

高齢者協同組合運動・地域福祉事業所の設立



日本高齢者生活協同組合連合会設立(2001年11月3日)



東京高齢協 第九合唱団(2004年)



「病院で死ぬということ」上映運動 沖縄(1993年)
前列左から2人目が市川準監督、3人目が山崎章郎医師(原作者)



ホームヘルパー養成講座を全国で開催(1995年~)



センター事業団埼玉北部地域福祉事業所だんらん(2001年)



北海道高齢協あかね学童保育

沖繩高齡協 配食事業



センター事業団草津地域福祉事業所みんなの家



ヤンタ－事業団パル板橋主催介護予防まつり(2006年)



センター事業団横戸塚地域福祉事業所戸塚の里 開所式(2017年)

生活と地域を焦点として

協同労働の協同組合へ



センター事業団FUSSA地域福祉事業所
武蔵野台児童館・食事会(2007年)



板橋区立こぶし保育園(認可保育園) 入園式



センター事業団東京東部事業本部の子育て現場合同サマーキャンプ（2012年）

「完全就労社会」をめざして

当事者主体による仕事おこし・地域づくり



労協若者自立塾(2005～2010年)



若者自立塾・演劇公演



センター事業団しんじゅく若者サポートステーション(総合若者支援)
農業を通じた職業体験



センター事業団東京中部事業所
自立支援センターまめのき(自立支援)



センター事業団博多事業所(病院清掃・生活支援)
就労困難にある人(元ホームレス)とともに働く



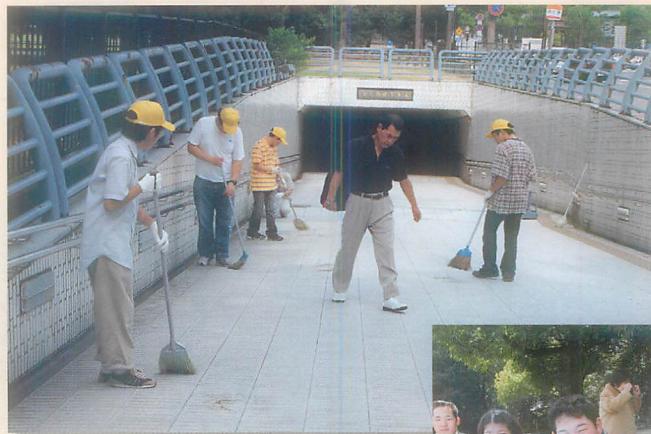
センター事業団京都第2事業所(食事業)
若者が徹底した指導で巣立っていく

千葉 松戸地域福祉事業所あじさい 10周年記念祭
地域の困りごと解決に向かい

祝
あじさいの仲間たち。前列左から2人目が小林所長、右端が小野
藍子さん



就労支援B型と自立訓練の多機能型訓練
味噌づけサロン、お祭り、くらしのサポートー養成も
開所から10周年を迎えた。労働省等1事業団松戸地域福祉推進会所
じごくいはい事業団は10月23日、佐藤公民館で利用者地域の関係者などを招き、
115人の参加で10周年記念式典を行った。
「働く」にこだわって
高齢者アイから
「高齢者のアイサレスか
らまつり」、商
事事業等、ひらく、
らまつりの基盤調
整、小豆川文庫所長は「
要なたててお申込やねん」
前からほらさるに大き
事仕事も広げて
ます。



センター事業団奈良西事業所(清掃) 障害のある仲間とともに



職業訓練から立ち上げたセンター事業団森の102(とうふ)工房
社会的困難にある仲間とともに働く



センター事業団地域福祉事業所
WORKERS NET RINGS(清掃)
さまざまな困難を抱える仲間とともに



はんしんワーカーズコープ(緑化) 緑化事業研修の様子と中間的就労の取組み

震災からの復興—持続可能な社会へ

F(食)・E(エネルギー)・C(ケア)自給圏の実現へ



阪神・淡路大震災復興支援 光中高年事業団



仙台で緊急全組合員会議(2011年3月)



東日本大震災復興支援 兵庫の労協・高齢協の仲間たち

18日、現地向け各地から7台の車が出発

「運帶よ。届け!」—全国から「物資支援

全国から、次々に物資が届いています。労協連、センター事業団、高齢協では、新潟、伊丹、尼崎、東京、埼玉から、米、缶詰、衣服、ガソリン缶などをトラックなどに積載して陸路、被災地に届けます。大崎(宮城、盛岡を中心とする地域)、18日7台が相次いで出発。続いて、第一次、第三次便も予定。一連帶の思いを届けます。

ささえあい生協(新潟高齢協)は盛岡へ
新潟高齢協は可能し、警察で緊急車両の登録をし、レンタルの

いざ、出発!

2トントラックで18日朝7時出発、経由(山形)
ソリゾン軽油の入れ物、ソリゾンカブリ、衣類等すべての救援物資を積み込み、新潟から磐梯越道へ、郡山経由で盛岡に向かいいます。福島原発から来る火山灰、避難勧告の半径80キロメートル圏内を通過するので、窓を開け工事コーンを止めノンストップで福島まで通り抜け

18日、19日には、以下の車両が出发。
石巻、女川、野田村へ

・米(コンビナリ)2袋、毛布600枚、食料(5000食目標)、乾電池、ティッシュペーパー、トイレットペーパー、卓上コロ・携帯ガス、ボリソク、水、灯油、ソリゾン軽油の入れ物、ソリゾンカブリ、衣類等すべての救援物資を積み込み、新潟から磐梯越道へ、郡山経由で盛岡に向かいいます。福島原発から来る火山灰、避難勧告の半径80キロメートル圏内を通過するので、窓を開け工事コーンを止めノンストップで福島まで通り抜け

より尼崎都市美化推進業組合1台車、搬入馬場、西村おね、&運取(ソラード)、軽1台分、コンロ、管、電池、毛布、スカート、石巻へ。
伊丹労協から出合1台、運送者1台

(18日 18時現在)



センター事業団石巻地域福祉事業所GAGA
復興支援から仕事おこし



センター事業団登米地域福祉事業所きねづかの里
総合福祉拠点づくりへ



全国に広がる菜の花プロジェクト



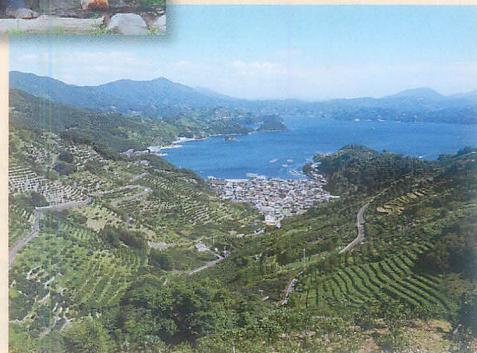
BDF事業で働く若者たち
(労協若者自立塾と連携)



地域協同組合無茶々園
生産者と海外研修生



センター事業団小田原・足柄地域福祉事業所(農福連携)
(株)報徳農場との協同



自伐型林業から里山の地域づくりへ
センター事業団Next Green広島(木こり屋BunBunBaum)



センター事業団但馬地域福祉事業所Next Green但馬

「協同労働の協同組合法」の制定をめざして

社会連帯・国際連帯・法制化運動



労働者協同組合法制定運動推進本部 出陣式
(1998年10月6日)



「協同労働の協同組合法制定を求める市民集会」横浜集会
1218人が参加(2007年4月26日)



協同出資・協同経営で働く協同組合法を考える議員連盟
発会式(2008年2月20日)



協同組合振興研究議員連盟 (2017年4月20日)
協同労働の協同組合法制定を第一課題として超党派議連に



理事会決議
11月16日に開いた労協連第4回定期理事会で、TPP(次回)と「TPP(次回)」決議を採択しました。

日本政府のTPP交渉参加に反対する決議

吉原

内山

金子美

水野和夫

井上

ラヴィル氏

バーチャル氏

内山

金子

水野

吉原



国際協同組合同盟(ICA)に加盟
CICOPA総会で挨拶をする中西理事長(1992年)



韓国地域自活センター協会主催「自活フェスティバル」で連帯の意思を伝える永戸理事長(2015年10月)



沖縄辺野古新基地建設に反対する座り込み 社会連帯活動(2016年)

「フードバンクちば」ワーカーズコープちばが設立(2012年～)

ワーカーズコープと地域の人々が取り組む「子ども食堂」は全国で50カ所以上に

市民が協同労働で仕事をおこす時代へ

ともに生き ともに働く 地域をつくる

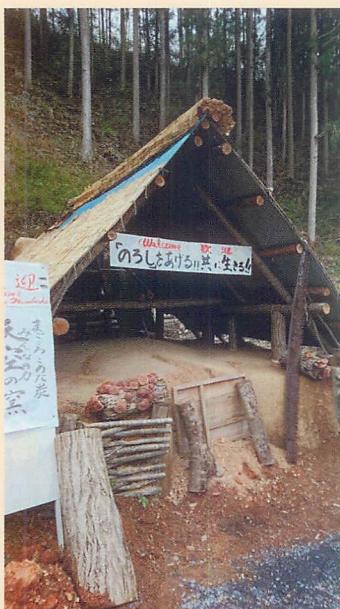
広島市協同労働プラットフォーム事業(2014年～) 市民が地域課題の解決に向けて協同労働組織を立ち上げ



協同労働取組事例発表会
(広島市・ワーカーズコープ主催 2017年5月)



わくわくクラブ(西区)



登米炭焼きワーカーズ
センター事業団登米地域福祉事業所が支援して地域住民が立ち上げ(2016年)



センター事業団西桂地域福祉事業所ばいかも
山梨県西桂町から地域づくりの期待を受けて設立(2017年5月)



千葉県佐倉市中志津自治会と連携した仕事おこしセミナー
住民たちのワーカーズコープ立ち上げをめざして(2017年3月～)